

今までいっただい、どれだけの人が

家づくりで悩んできたのだろう・・・

これから家づくりを始めるあなたには

絶対に言わせたくない

「しまった！」の一言

はじめに

私の朝は、3人の子供たちのドタバタとした大合唱から始まる。まだ私の頭が回転していない時、この音で目が覚めるようなものです。

「早くしなさい！」「歯を磨いてからいきなさい！」この声に子供たちの動きは加速する。私も例外ではない。決まって次にこうくるからだ。

「あなたも早く行きなさい！掃除の邪魔よ！」

この声の主は、自分の声を普通だと言っている。しかし、近所隣に聞こえるようなかん高い声だ。二日酔いの朝だと、この声は鐘をついたみたいに頭に響く。

「あなたが防音しないから悪いのよ！欠陥よ。この家は欠陥！」

冗談でも、頭にくる言葉だ。しかし、ケンカをしても勝ち目はないから、

耐えるしかない……。逆らうものなら、「早く仕事へ行け！」と新聞を読む時間すら与えられない。でも時々言うてやる

「耳が悪いんじゃないのか？」

私の家は築28年目になる中古住宅。買入れた時、大規模なリフォームをして住んでいます。その当時はペアガラスなんて主流じゃなかったから、ガラスをシングルガラスにした。そのため冬は結露や防音性もおちることになる。予算的な問題もあったのだが、今思えば後悔しています。

この本を読む人は、家づくりをして後悔しないように、いろいろな事を書きました。いい家とは？家づくりのわからない事？疑問点をこの本が一発で解消できると思います。だからたくさんの人に最後まで読んでもらいたい。ただし、私のかみさん以外の人に・・・。

まだ本当にある

欠陥住宅といわれる家や新築してわずか数年で手放してしまう家が・・・
何故だろうか？

あれだけ、マスコミに騒がれたのになくならない欠陥住宅

不況だと言われる世の中なのに無理なローンを組みそのため家を手放す人たち。何故無理なローンを組むのだろうか？

消費者に本当のイイ家を作る為の情報がいき届いていないからだろうか？ITの時代と呼ばれる今でも、かたよつた情報や間違つた知識しか家を作る為の情報が行き届かず、現実に家を作つた為に信じられないような問題に直面している人達がいる。

あなたの周りにもいないだろうか？

建てたばかりなのに、家に変な不具合が出来て困っている人
新築したばかりなのに、空き家になってしまった家

いつのまにか売りに出ているまだ新しい家……。家は、家族にとって憩いの場であり、財産であり、みんなの夢だ！ほとんどの人は一生に一度の大プロジェクトのほず、一生で一番高価な買い物だから失敗はしたくないはずだ。

悲しい家

坪25万円だから安いとおもい、仮契約したら驚くことに収納が一つもなかったり、間仕切壁さえも、収納スペースの扉さえもなく、それは全てオプションで何百万円もの金額が上乗せになって、当初予定していた予算をはるかにオーバーし、預金も無くなり一文無しになってしまい引越しの代金さえ無くなってしまい途方にくれる人。

坪60万円もしたのに40万円の家となら変わらず、何がいったいそんなに高いのかわからない家を買ってしまい高額なローンだけが続いている人。しかも、アフターメンテナンスも来てくれない会社。そんな家が本当にたくさんあります。

「何故そんな事があるのか？」

住宅には決まった価格がない。住宅メーカーもビルダーも工務店も値段がそれぞれ違う。それに次から次へと新しい工法や、住宅とは程遠い畑違いの業界の会社が住宅産業に参入し増えてくる。消費者にとっては、ややこしくて何が本当なのかわからなくなってしまう。

こんな悲しい家づくりにならないように、あなたの家づくりを成功に導くコツがこの本の中に書かれている。

もしかして今まで、あなたが見聞きした事、読んだ事とは違う事があるかもしれない。それもそのはず、住宅メーカーや、フランチャイズ業者や、そのスポンサーとは関係ないから遠慮なく本当の事が書ける
全て生の話しである。

これを書くことによってわたしは、非難ゴウゴウ、夜道でどこかの営業マンには石をぶつけられたり、下手をするとかミソリ入りの手紙が来るかもしれない。でも、それでも平気だ。うちのかみさんより怖いものはない。

私は家づくりのプロフェッショナルとして数十棟の家にたずさわってきた。机上論ではない。

自分の目で確かめ一つ一つに触れてわかった、その知識を皆さんに知っていただきたい。それによって家を建てて後悔する人が一人でも少なくなればうれしかぎりだ。